

注3

大学番号：私577

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

九州看護福祉大学 看護福祉学部
鍼灸スポーツ学科・口腔保健学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 熊本城北学園
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 総務課長 オガワ タダシ 小川 正

電話番号 0968-75-1800

（夜間） 0968-75-1800

F A X 0968-75-1811

e-mail office@kyushu-ns.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象学校等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
	看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科	5
	口腔保健学科	13
3	施設・設備の整備状況, 経費	19
4	既設大学等の状況	20
5	教員組織の状況	21
	看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科	21
	口腔保健学科	31
6	留意事項に対する履行状況等	38
7	その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 熊本城北学園

(2) 大学名

九州看護福祉大学

(3) 大学の位置

〒865-0062
熊本県玉名市富尾888番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フタツカ マコト) 二塚 信 (平成19年4月)	(モリ マサオミ) 森 正臣 (平成23年12月)	辞任に伴う変更 平成23年12月26日 (24)
学長	(フタツカ マコト) 二塚 信 (平成17年4月)		
学部長	[該当なし]		
学科長等	(ナカイ サチコ) 中井 さち子 (平成22年4月)		
学科長等	(トクナガ ジュンヤ) 徳永 淳也 (平成22年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科 学士(鍼灸スポーツ学)	4年	40人	—	160人	
口腔保健学科 学士(口腔保健学)	4年	50人	—	200人	

(注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

(看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科)

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 (—) [—]	—	40 (—) [—]	—	40 (—) [—]	—	40 (—) [—]	—	1.24倍	
志願者数	48 (—) [—]	— (—) [—]	101 (—) [—]	— (—) [—]	87 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	48 (—) [—]	— (—) [—]	101 (—) [—]	— (—) [—]	86 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	48 (—) [—]	— (—) [—]	75 (—) [—]	— (—) [—]	65 (—) [—]	— (—) [—]	78 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	37 (—) [—]	— (—) [—]	62 (—) [—]	— (—) [—]	46 (—) [—]	— (—) [—]	54 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	0.92		1.55		1.15		1.35			

(看護福祉学部 口腔保健学科)

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 (—) [—]	—	50 (—) [—]	—	50 (—) [—]	—	50 (—) [—]	—	0.83倍	
志願者数	49 (—) [—]	— (—) [—]	97 (—) [—]	— (—) [—]	69 (—) [—]	— (—) [—]	73 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	47 (—) [—]	— (—) [—]	96 (—) [—]	— (—) [—]	69 (—) [—]	— (—) [—]	72 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	47 (—) [—]	— (—) [—]	90 (—) [—]	— (—) [—]	66 (—) [—]	— (—) [—]	70 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	34 (—) [—]	— (—) [—]	50 (—) [—]	— (—) [—]	39 (—) [—]	— (—) [—]	44 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	0.68		1.00		0.78		0.88			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

(看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科)

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 37	[-] -	[-] 62	[-] -	[-] 46	[-] -	[-] 54	[-] -	
2年次	/		[-] 36	[-] -	[-] 57	[-] -	[-] 45	[-] -	
3年次			/		[-] 35	[-] -	[-] 52	[-] -	
4年次	/				[-] 34	[-] -			
計			[-] 37	[-] 98	[-] 138	[-] 185			

(看護福祉学部 口腔保健学科)

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 34	[-] -	[-] 50	[-] -	[-] 38	[-] -	[-] 44	[-] -	
2年次	/		[-] 33	[-] -	[-] 48	[-] -	[-] 37	[-] -	
3年次			/		[-] 31	[-] -	[-] 45	[-] -	
4年次	/				[-] 31	[-] -			
計			[-] 34	[-] 84	[-] 117	[-] 157			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

(看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	37人	3人	平成22年度	1人	0人	その他(1名)	8.1%
			平成23年度	1人	0人	除籍(1名)	
			平成24年度	1人	0人	その他(1名)	
			平成25年度	0人	0人		
平成23年度 入学者	62人	10人	平成23年度	5人	0人	学業不振(1名)、進路変更(2名)、 その他(2名)	16.1%
			平成24年度	5人	0人	進路変更(3名)、就職(1名)、 その他(1名)	
			平成25年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	46人	1人	平成24年度	1人	0人	進路変更(1名)	2.2%
			平成25年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	54人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
合計	199人	14人					7.0%

(看護福祉学部 口腔保健学科)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	34人	3人	平成22年度	1人	0人	進路変更(1名)	8.8%
			平成23年度	2人	0人	進路変更(1名)、除籍(1名)	
			平成24年度	0人	0人		
			平成25年度	0人	0人		
平成23年度 入学者	50人	5人	平成23年度	2人	0人	進路変更(2名)	10.0%
			平成24年度	3人	0人	進路変更(1名)、その他(2名)	
			平成25年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	39人	2人	平成24年度	2人	0人	進路変更(1名)	5.1%
			平成25年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	44人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
合計	167人	10人					6.0%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす
ありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)
により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための
準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、
【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入し
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入ください
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎分野	文学	1前	2								兼1	
	心理学Ⅰ	1前	2								兼1	
	心理学Ⅱ	1後	2								兼1	
	スポーツ心理学	1後	2								兼1	
	法学Ⅰ	1前	2			1						
	法学Ⅱ（日本国憲法）	1後	2			1						
	社会学Ⅰ	1前	2								兼1	
	社会学Ⅱ	1後	2								兼1	
	スポーツ社会学	1後	2								兼1	
	教育学	1前	2								兼1	
	発達心理学	1前	2								兼1	
	哲学	1後	2								兼1	
	経済学	1前	2								兼1	
	コミュニケーション論	2前	2								兼1	
	カウンセリング論	1後	2								兼1	
	体育原理	1前	2								兼1	教職科目からの科目区分変更に伴う追加(22) 担当：山下和彦（非常勤講師） 山下和彦兼任講師の担当辞退の理由により、担当者を変更(24) 担当：榊原浩晃兼任教員
	比較文化論	1前 1後	2								兼3	他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)
	体育	1前 1後 1前	2			1						他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22) 担当者の担当負担が第2学期に集中している理由から、配当学期を第1学期から第2学期へ変更(25)
	英語Ⅰ	1前	2								兼1	
	英語Ⅱ（医療英語）	1後	2								兼1	
	英会話Ⅰ	1前	2				1				兼1	担当者の変更(24) 担当：江口元子兼任講師
	英会話Ⅱ	1後	2								兼1	
	中国語会話	1前	2								兼1	
	韓国語会話	1後	2								兼1	
	ドイツ語	1後	2								兼1	
	障害者言語Ⅰ（点字）	1前	2								兼4	兼任教員の出講辞退の理由により担当者未決定(25)
	障害者言語Ⅱ（手話）	1後	2								兼1	
	基礎生物科学	1前	2								兼1	
	公衆衛生学	2前	2								兼1	
	環境衛生学	2後	2								兼1	
生命倫理	1前	2								兼4		
人間工学	1後	2								兼1		
トレーニング科学	1後	2				1		1			新任教員着任の理由により、担当者変更(25) 担当 井手裕子（助教） 平成25年4月1日採用	
情報リテラシーⅠ	1前	2								兼1		
情報リテラシーⅡ	1後	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	1前	2				1							
	解剖学Ⅱ	1後	2				1							
	解剖学Ⅲ(講義・演習)	2前	2				1 2						担当者の変更(23)	
	生理学Ⅰ	1前	2										兼1 担当者の変更(22)	
	生理学Ⅱ	1後	2										兼1 担当者の変更(22)	
	生理学Ⅲ(講義・演習)	2前	2				1						担当者の変更(22) 松本直幸(兼任)から専任の担当とした(25) 担当:齋田和孝	
	医用工学	1後		2									兼6	
	スポーツ医学概論	2前 2後		2			0 +	1					兼+	兼任講師都合による開講学期の変更及びシラバスの見直しによる専任教員の追加(23) オムハス担当:平崎和雄(准教授) 開講学期を届出どおりの開講に戻す(24) 専任教員の追加(24) オムハス担当:加藤浩(教授) 専任の単独担当の理由により、兼任を削除(25)
	運動学	2前		2			1							教職科目からの科目区分変更に伴う追加(22) 担当:山下忍(教授)
	バイオメカニクス	3前		2									兼1	
	運動生理学	2後		2			0 +						兼1	担当者の負担軽減の理由により、兼任へ担当変更(25)
	医学概論	1後	2				1							担当者の変更(22)
	病理学	2前	2				1							担当者の変更(22)
	臨床医学総論Ⅰ	1後	2				1							担当者の変更(22)
	臨床医学総論Ⅱ	2前	2				1							担当者の変更(22)
	臨床医学各論Ⅰ(呼吸器・循環器系)	2前	2				1						兼2	担当者(兼任)の変更(23) 兼任から専任の担当とした(25) 担当:齋田和孝(教授)
	臨床医学各論Ⅱ(消化器系・泌尿器系)	2後	2				1						兼+	担当者(兼任)の変更(23) 兼任から専任の担当とした(25) 担当:齋田和孝(教授)
	臨床医学各論Ⅲ(整形外科)	2後	2										兼1	
	臨床医学各論Ⅳ(スポーツ障害)	3前	2					0 +					兼1	ATからの科目区分変更に伴う担当者の追加(24) 担当:平崎和雄(准教授) 平崎准教授とは他の兼任講師の担当辞退の理由により未開講(24) アスレティックトレーナー養成において、当該科目の講師要件を満たす兼任が担当(25)
	臨床医学各論Ⅴ(皮膚・免疫系)	3前	2				1						兼+	兼任から専任の担当とした(25) 担当:齋田和孝(教授)
	臨床医学各論Ⅵ(脳神経疾患・婦人科系疾患)	3後	2				1						兼1	兼任から専任の担当とした(25) 担当:齋田和孝 併せて兼任教員も担当(25)
	リハビリテーション概論	2前	2							1			兼1	担当者の変更(22)
	リハビリテーション医学	2後	2				3	2	4				兼10	専任から兼任への変更、現在も兼任が決定していない理由により未開講(24) 兼任9名と兼任1名による担当とした(25)
	薬理学	2後		2									兼1	
	医事法規	2後	2				1							
	保健福祉論	2後		2									兼1	
	社会保障論	3前		2									兼1	
地域保健論	2前		2									兼1		
学校保健	2前		2									兼1	教職科目からの科目区分変更に伴う追加(22) 担当:古賀由紀子(講師) 兼任から兼任へ担当者変更(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎分野	精神保健Ⅰ	2前 2後	2									兼1 他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)
	健康相談論	2後 2前	2									兼1 他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)
	救急処置法	2前	2			1	1		1			兼1 担当者の追加(23) 担当者の負担軽減並びに健康運動指導士の講師要件の理由から、専任2名を追加した(25) 担当:齋田和孝(教授)、井手裕子(助教) 井手裕子 平成25年4月1日着任
専門分野	東洋医学概論Ⅰ	1前	2				1					
	東洋医学概論Ⅱ	1後	2				1					
	東洋医学概論Ⅲ	2前 2後	2				1					学習効果を考慮し、配当学期を変更(24)
	鍼灸基礎理論	1前 1後	2			1 0 1	2	1	1	1		学習効果を考慮し、配当学期を変更及び担当者の変更(24) 専任(村上高康)の退職に伴い、専任6名の担当とした(25) 担当:中井さち子(教授)、野口恭庸(准教授)、藤木実(准教授)、内田匠治(講師)、浅井福太郎(助教)、花田雄二(助手) 内田匠治及び花田雄二 平成25年4月1日着任
	経絡経穴学概論Ⅰ	1前	2				1	1				科目担当者の変更(22) 科目担当者の変更(23) 専任(村上高康)の退職に伴い、専任(新任)の担当とした(25) 担当:内田匠治(講師) 平成25年4月1日着任
	経絡経穴学概論Ⅱ	2前	2			1	1	1				科目担当者の変更(22) 科目担当者の変更(23) 担当者の変更(24) 専任(村上高康)の退職に伴い、専任(新任)の担当とした(25) 担当:内田匠治(講師) 平成25年4月1日着任
	東洋医学臨床論Ⅰ	2前	2				1	1	0	1		科目担当者の変更(22) 科目担当者の変更(23) 担当者の変更(24) 浅井福太郎(助教)を担当から外し、専任(新任)を追加した(25) 担当:内田匠治(講師) 平成25年4月1日着任
	東洋医学臨床論Ⅱ	2後	2				1	1	1			科目担当者の変更(22) 科目担当者の変更(23) 担当者の変更(24) 新任の着任に伴い、担当者を追加(25) 担当:内田匠治(講師) 平成25年4月1日着任
	鍼灸安全管理学	3前	2				1	1				担当者の変更(24)
	はりきゅう理論Ⅰ	2後	2					1	1			科目担当者の変更(22)
	はりきゅう理論Ⅱ	3前	2			1	1		1			担当者の変更(24)
	鍼灸医学総合演習	4前 3後	2				1	1				学習効果を考慮し、配当学期を変更(24) 田口太郎(講師)から藤木実(准教授)と内田匠治(講師)へ変更した(25) 担当:内田匠治(講師) 平成25年4月1日着任
	社会鍼灸学	3後	2				1	1				担当者を追加(24) 村上高康(講師)の退職に伴い、内田匠治(講師)を追加した(25) 担当:内田匠治(講師) 平成25年4月1日着任
社会鍼灸学演習(施設見学を含む) 社会鍼灸学演習	3後	2			1 2	3 1	1 2 1	2 1	1		科目名称変更及び担当者変更(22) 担当者の変更(24) 村上高康(講師)の退職に伴い、藤木実(准教授)、田口太郎(講師)、浅井福太郎(助教)及び久保春子(助教)を追加した(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	臨床コミュニケーション	3前 4前	2				1 1	1 1		1 2 3 2 1	1	担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更及び学習効果を 考慮し、開講年度を変更(24) 野口恭庸(准教授)と浅井福太 郎(助教)を担当から外し、塚 本紀之(准教授)、田口太郎 (講師)、花田雄二(助手)を追 加(25) 花田雄二 平成25年4月1日着 任
	はり基礎実習Ⅰ	1前 1後	2				1			1 3 2 1	1	科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更(24) 花田雄二(助手)の着任に伴 い、担当者を追加した(25) 花田雄二 平成25年4月1日着 任
	はり基礎実習Ⅱ	1後 2前	2			1	2 1			1 3 2 1		科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更(24) 担当者の負担軽減のため、塚 本紀之(准教授)を追加した (25)
	きゅう基礎実習Ⅰ	1前 1後	2					1		1 3 2 1	1	科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更(24) 学習効果を考慮し、配当学期 を変更(24) 花田雄二(助手)の着任に伴 い、担当者を追加した(25) 花田雄二 平成25年4月1日着 任
	きゅう基礎実習Ⅱ	1後 2前	2			1		1		1 3 2 1	1	科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更(24) 学習効果を考慮し、配当学期 を変更(24) 花田雄二(助手)の着任に伴 い、担当者を追加した(25) 花田雄二 平成25年4月1日着 任
	鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系)	2後	2			1 2	3 2	2		2 3 2 1	1	科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更(24) 村上高康(講師)の退職に伴 い、内田匠治(講師)と花田雄 二(助手)を追加した(25) 内田匠治、花田雄二 平成25 年4月1日着任
	鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系)	3前	2			1 2	2	2		2 3 2 1	1	科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更(24) 村上高康(講師)の退職に伴 い、内田匠治(講師)と花田雄 二(助手)を追加した(25) 内田匠治、花田雄二 平成25 年4月1日着任
	鍼灸臨床実習Ⅲ(スポーツ鍼灸)	3後	2			1 2	2 3	2		2 3 2 1	1	科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更(24) 村上高康(講師)の退職に伴 い、内田匠治(講師)と花田雄 二(助手)を追加した(25) 内田匠治、花田雄二 平成25 年4月1日着任 塚本紀之(准教授)を外した (25)
鍼灸治療所実習Ⅰ	4前 3後	2			1 2	3 2	2		3 2 1		科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更及び学習効果を 考慮し、 開講年度を変更(24) 村上高康(講師)の退職に伴 い、内田匠治(講師)を追 加した(25) 塚本紀之(准教授)を追加した (25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	鍼灸治療所実習Ⅱ	4後 4前	2			1 2	3 2	2	3 2 1		科目担当者の変更(22) 平成23年4月 新規採用 久保春子(助教)(23) 担当者の変更及び学習効果を 考慮し、 開講年度を変更(24) 村上高康(講師)の退職に伴 い、内田匠治(講師)を追加し た(25) 塚本紀之(准教授)を追加した (25)
	武道(柔道)	1前	1								兼1
	武道(剣道)	1前	1			1					
	ダンス(エアロビクスを含む)	1後	1								兼1
	水泳(アクアビクスを含む)	1前	1								兼1 教職免許(高等学校教諭一種 免許・保健体育)のため科目 区分変更(22)
	陸上競技 (ジョギング・ウォーキングを含む)	1後	1								兼1
	体操(器械体操を含む)	2前	1								兼1
	バレー・バスケット	2後	1								兼1
	ラグビー・サッカー	3前	1								兼1
	エアロビク概論	4前	1								兼1
	エアロビク実習	4前	1								兼1
	臨床心理学	2後	2			4	1				担当者の変更(24)
	看護学概論	1前	2								兼4
	社会福祉原論Ⅰ	1前	2								兼1
	生活支援論	1後	2			1					兼9
	生活支援論演習	4前	2			4		1			兼5 中井さち子(教授)から田口太 郎(講師)へ変更
	発育発達論	2後	2								兼1
専門分野	生活栄養学(スポーツ栄養学Ⅰ) 生活栄養学	2前 1前 1後	2								兼1 科目名称変更及び開講学期の 変更(22) 学習効果を考慮して開講年度 の変更(23)
	トレーニング論	2前 3前 2前	2			4					兼1 学習効果を考慮して開講年度 変更(22) 開講年度及び担当者の変更 (24) 担当:玉江和義兼任講師
	スポーツ指導論	2前 3後 2後	1			4					兼1 学習効果を考慮して開講年度 変更(22) 開講年度及び担当者の変更 (24) 担当:後藤貴浩兼任講師
	コーチング論	3前	2								兼1 教職科目充実のため科目区分 変更(22) 担当者の変更(24) 担当:後藤 貴浩兼任講師
	メンタルマネジメント論	3後 2後	1								兼1 学習効果を考慮して開講年度 変更(22)
	スポーツ経営学	2後	2								兼1
	健康管理とスポーツ医学	2後	2				4				兼1 ATからの科目区分変更に伴う 担当者の追加(24) 担当:平崎 和雄(准教授) 兼任講師の担当辞退の理由に より未開講(24) 平崎和雄(准教授)とAT講師要 件の兼任で計画をしていた が、兼任1名による担当とし た(25)
	身体の測定・評価	2前	2				4		1		兼1 科目担当者の変更(23) 担当:平崎和雄(准教授) 平崎和雄(准教授)の負担軽減 の理由により、井手裕子(助 教)と兼任による2名の担当 とした(25) 井手裕子 平成25年4月1日着 任
	スポーツ障害の評価	2後	2				4		4		兼4 科目担当者の変更(22) 担当者の変更(24) 担当:常 磐直孝兼任講師 教職課程認定の教員数充足の 理由により、兼任から平崎和 雄(准教授)へ変更した(25)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	スポーツコンディショニング概論	2後 3前 2前		2			1					学習効果を考慮して、開講年度変更及び科目担当の変更(22)担当:平崎和雄(准教授)開講年度の変更(23)
	スポーツ栄養学Ⅱ スポーツ栄養学	3前 2前		2								科目名称変更及び学習効果を考慮して開講年度変更(22)担当者(兼任)の変更(24)担当:押方玲香兼任講師
	研究方法論	3後 3前	2			4	3 2	1 2	1			学習効果を考慮して、開講年度変更及び担当者の追加(24)平成24年4月採用 塚本紀之(准教授) 村上高康(講師)の退職(25)
	卒業研究	4前	2			4	4 3 2	2	3 1			担当者の追加(24)平成24年4月採用 塚本紀之(准教授) 専任2名毎でゼミ編成を行うため、平崎和雄(准教授)、内田匠治(講師)、浅井福太郎(助教)、久保春子(助教)及び井手裕子(助教)を追加した(25)。村上高康(講師)退職(25)。内田匠治、井手裕子平成25年4月1日着任
	卒業研究論文	4通	4			4	4 3 2	2	3			担当者の追加(24)平成24年4月採用 塚本紀之(准教授) 専任2名毎でゼミ編成を行うため、平崎和雄(准教授)、内田匠治(講師)、浅井福太郎(助教)、久保春子(助教)及び井手裕子(助教)を追加した。村上高康(講師)退職(25)内田匠治、井手裕子平成25年4月1日着任
自由選択科目	アスレティックトレーナー概論	1前		2		1						科目担当の変更(22)
	アスレティックリハビリテーション論	3前		2							兼1	
	アスレティックリハビリテーションⅠ	3前		2							兼1	
	アスレティックリハビリテーションⅡ	3後		2							兼1	
	コーチング論	2前		2								専門分野総合領域へ移動のため削除(22)
	スポーツコンディショニング	2後		2		1		1				科目担当の変更(22)担当:平崎和雄(准教授)井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)
	テーピングコンディショニング	2後		2				1			兼1	井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)
	健康教育概論	1後		2		1		1			兼1	資格取得のため科目追加(22)担当:古賀由紀子(講師)、平崎和雄(准教授) 平崎和雄(准教授)の負担軽減のため、兼任へ担当者変更。井手裕子(助教)着任の理由により担当者を追加(25)
	運動器の解剖と機能Ⅰ	2前		2		1						資格取得のため科目追加(22)担当:平崎和雄(准教授)
	運動器の解剖と機能Ⅱ	2後		2		1						資格取得のため科目追加(22)担当:平崎和雄(准教授)
	アスレティックトレーナー専門実習Ⅰ	3前		1			1		1			科目担当の変更(22)担当:平崎和雄(准教授)井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)
	アスレティックトレーナー専門実習Ⅱ	3前		1			1		1			科目担当の変更(22)担当:平崎和雄(准教授)井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)
	アスレティックトレーナー専門実習Ⅲ	3後		1			1		1			科目担当の変更(22)担当:平崎和雄(准教授)井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)
	アスレティックトレーナー専門実習Ⅳ	3後		1			1		1			科目担当の変更(22)担当:平崎和雄(准教授)井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)
アスレティックトレーナー専門実習Ⅴ	4前		1			1		1			科目担当の変更(22)担当:平崎和雄(准教授)井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)	
アスレティックトレーナー専門実習Ⅵ	4後		1			1		1			科目担当の変更(22)担当:平崎和雄(准教授)井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由選択科目	エアロビッング概論	4前			1							専門分野総合領域へ移動のため削除(22)
	エアロビッング実習	4前			1							専門分野総合領域へ移動のため削除(22)
	生活習慣予防学	2後			2							兼1 資格取得のため科目追加(23) 兼任の担当辞退の理由により未開講(24) 平成25年4月1日着任の兼任が担当(25)
	体力測定・評価	2後			2		1					資格取得のため科目追加(23) 担当:平崎和雄(准教授)
	スポーツ医学演習	3前			2		1			1		資格取得のため科目追加(23) 担当:平崎和雄(准教授) 平崎准教授とは他の兼任が未決定の理由により未開講(24) 井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)
	運動処方論	3後			2		1					資格取得のため科目追加(23) 担当:平崎和雄(准教授)
	フィットネスマネジメント実習	4前			1		1			1		資格取得のため科目追加(23) 担当:平崎和雄(准教授) 井手裕子(助教)着任の理由により、担当者を追加(25)
	エアロビッング演習	4前			1							資格取得のため科目追加(23)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
51	56	15	122	51	70	21	142	
				[0]	[14]	[6]	[20]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	臨床医学各論Ⅳ(スポーツ障害)	2	3	専門	必修	兼任講師の担当辞退により未開講 決定次第開講する(24)
2	リハビリテーション医学	2	2	専門	必修	専任教員から兼任講師への変更 現在も兼任講師が決定していない 決定次第開講する(24)
3	健康管理とスポーツ医学	2	2	専門	選択	兼任講師の担当辞退により未開講 決定次第開講する(24)
4	生活習慣予防学	2	2	専門	選択	兼任講師の担当辞退により未開講 決定次第開講する(24)
5	スポーツ医学演習	2	3	専門	選択	専任教員とは他の兼任講師が未決定のため 未開講、決定次第開講する(24)
6	障害者言語Ⅰ(点字)	2	1	一般	選択	兼任講師の担当辞退により未開講 決定次第開講する(25)
7	健康管理とスポーツ医学	2	2	専門	選択	兼任講師の担当辞退により未開講 決定次第開講する(25)
8	スポーツ医学演習	2	2	専門	選択	医師免許を有する者が未決定のため未開講 決定次第開講する(25)

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

臨床医学各論Ⅳ(スポーツ障害)、健康管理とスポーツ医学、スポーツ医学演習については、平崎和雄(准教授)とは他に兼任講師1名の計2名の担当者による開講を計画していたが、いずれの科目も兼任講師の担当辞退により未開講となっている。引き続き、後任となる兼任講師をあたり開講できるよう調整する。

また、リハビリテーション医学については、認可申請時は専任教員(リハビリテーション学科の複数教員)による担当で申請をしており、平成23年度は鍼灸スポーツ学科とリハビリテーション学科の両学科合同で当該科目を開講した。しかし、平成23年度にリハビリテーション学科の教育課程を改正したことに伴い、①平成24年度から両学科合同による開講ができないこと、②鍼灸スポーツ学科の単独開講とした場合、リハビリテーション学科の教員に対する負担が増加することの理由により、平成24年度は兼任講師による担当を計画している。現在は後任の兼任講師を探しているが、未だ担当者決定には至っていない。

また、生活習慣予防学については、認可申請時に届出をしていた兼任講師から担当辞退の申出があったため、現在も後任の担当者を探しているが、こちらも未だ担当者決定には至っていない。

学生への周知方法としては、学内掲示及びメールの一斉配信(教務システム)をもって開講の周知を図る。(24)

障害者言語Ⅰ(点字)は、兼任講師の体調不良の理由により平成25年度の担当を辞退したい旨の申出があった。現在、後任の講師を探しているが、未だ担当者決定には至っていない。引き続き講師を探す。

健康管理とスポーツ医学は、公益財団法人日本体育協会が認定するアスレティックトレーナー受験資格取得に係る指定科目である。当該科目の講師要件では「スポーツドクターの資格を有し、かつ整形外科医が望ましい」と指定されている。平成24年度は前述の要件を満たす兼任講師の担当により当該科目を開講したが、平成25年度は担当を辞退したい旨の申出があった。現在は後任の講師を探しているが、未だ担当者決定には至っていない。引き続き講師を探す。(25)

スポーツ医学演習は、公益財団法人健康・体力づくり事業財団が認定する健康運動指導士受験資格取得に係る指定科目である。当該科目の講師要件では「医師免許を有する者が担当すること」と指定されている。現在、当該科目の担当者には平崎和雄(准教授)と井手裕子(助教)の2名で配置を行っているが、医師免許を有する者が未決定の理由から開講できない状況である。引き続き、学内教員の医師免許を有する者への担当依頼を含め担当者を決定する。

学生への周知方法としては、学内掲示及びメールの一斉配信(教務システム)をもって開講の周知を図る。(25)

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{3}{122}$	=	$\frac{0.02}{0.04}$
---	---	---------------------

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<看護福祉学部 口腔保健学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎分野	文学	1前		2								兼 2
	心理学 I	1前		2								兼 1
	心理学 II	1後		2								兼 1
	法学 I	1前		2								兼 1
	法学 II (日本国憲法)	1後		2								兼 1
	社会学 I	1前		2								兼 1
	社会学 II	1後		2								兼 1
	教育学	1前		2								兼 1
	発達心理学	1前		2								兼 1
	哲学	1後		2		1						
	経済学	1前		2								兼 1
	倫理学	1後		2		1						
	コミュニケーション論	2前	2									兼 1
	ボランティア論	1前		2								兼 3
	比較文化論	1前 1後		2		1						他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更 (22)
	カウンセリング論	1後	2									兼 1
	体育	1前 1後 1前		2								他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更 (22) 担当者の担当コマ増のため、配当学期の変更 (24)
	英語 I	1前	2									兼 1
	英語 II (医療英語)	1後		2								兼 1
	英会話 I	1前	2				1					担当者の変更 (24) 担当: 江口元子 (非常勤講師)
	英会話 II	1後		2								兼 1
	中国語会話	1前		2								兼 1
	韓国語会話	1後		2								兼 1
	ドイツ語	1後		2		1						
	障害者言語 I (点字)	1前		2								兼 1 兼 担当教員の出講辞退の理由により担当者未決定 (25)
	障害者言語 II (手話)	1後		2								兼 1
	基礎生物科学	1前		2								兼 1
	公衆衛生学	2前	2			1						
	環境衛生学	2後		2								兼 1
	生命倫理	1前	2									兼 4
人間工学	1後		2								兼 1	
情報リテラシー I	1前	2									兼 1	
情報リテラシー II	1後	2									兼 1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年	単位数				専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 基礎 分野	解剖生理学Ⅰ	1前	2									兼 2
	解剖生理学Ⅱ	1後	2									兼 2
	解剖生理学Ⅲ	2前		2								兼 2
	生化学	1前	2									兼 2
	医用工学	1後		2								兼 6
	生活栄養学	1後	2									兼 1 担当者(兼任)の変更(23)
	バイオメカニクス	3前		2								兼 1
	運動生理学	1後		2								兼 1
	口腔解剖学	1後	2									兼 1 担当者(兼任)の変更(23) 兼 1 担当者(兼任)の変更(24) 兼 1 担当者(兼任)の変更(25)
	口腔組織発生学	1後	1									兼 1 担当者(兼任)の変更(23) 兼 1 担当者(兼任)の変更(24) 兼 1 担当者(兼任)の変更(25)
	口腔生理学	1後	1									兼 1 担当者(兼任)の変更(23)
	口腔生化学	1後	1									兼 1
	病態生理学Ⅰ	1後 1前	2									兼 3 他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)
	病態生理学Ⅱ	2前 1後		2								兼 4 他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)
	病態生理学Ⅲ	2後 2前		2								兼 4 他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(22)
	口腔病理学	2前	1									兼 1
	感染症学	2前	2									兼 3
	口腔微生物学	2前	1				1	1				兼 2
	薬理学	2前	2									兼 2
	リハビリテーション概論	2前		2								兼 1
	リハビリテーション医学	2前 2後		2								兼 10 他学科の同一科目と履修時期を統一するため、配当学期を変更(24)
	医事法規	2後		2								兼 1
	医療福祉論Ⅰ	3前		2								兼 1
	保健社会論	2前		2								兼 1
	地域保健論	2後		2								兼 1
	精神保健Ⅰ	2後		2								兼 1
	健康相談論	2後		2								兼 1
	学校保健	2前		2				1				
	救急処置法	2前		2					1			
	口腔保健衛生学	1後	2						1			
	口腔保健統計学	2前	1				1					
	地域歯科衛生学	2後	1				1	1				
保健福祉行政論	2前	2									兼 1	
保健福祉論	2後		2								兼 1	
国際保健論	4前		2								兼 1	
疫学	2後		2								兼 1 担当者(兼任)の変更(24)	
保健統計学	2前		2								兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	歯科衛生学概論	1前	2				1	2					
	臨床歯科医学概論	1前	2			2	1						教員の追加(24) オムニス担当: 村上繁樹(教授)、北田勝浩 (准教授)
	歯科保存学	2前	2			1							
	歯周病治療学	2後	2			1							
	歯科補綴学	2前	2			1							
	顎口腔外科学	2前	2										兼 2
	歯科麻酔学	2前	1										兼 1
	発達矯正歯科学	2前	2			1							
	発達歯科学Ⅰ(小児)	2前	2				1	1					
	発達歯科学Ⅱ(障害者)	2後	1										兼 1
	発達歯科学Ⅲ(高齢者)	2後	1			1							
	口腔疾患予防学	2前	2				1						
	口腔疾患予防学演習Ⅰ (基礎技術)	2後	2			0	2	1	2	3	2		教員の追加(24) 担当:金子憲 章(教授)、村上繁樹(教授)、 富高梨恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 教員の追加(25) 近藤悠美(助教) 平成25年4月 採用 教員の削除(25) 金子憲章(教授)、村上繁樹 (教授)、富高梨恵(助教)
	口腔疾患予防学演習Ⅱ (う蝕予防)	2後	2			2	1	2	3	2		教員の追加(24) 担当:金子憲 章(教授)、村上繁樹(教授)、 富高梨恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 教員の追加(25) 近藤悠美(助教) 平成25年4月 採用 教員の削除(25) 富高梨恵(助教)	
	口腔疾患予防学演習Ⅲ (歯周病予防)	3前	2				1	2	3	2		教員の追加(24) 担当:富高梨 恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 教員の追加(25) 近藤悠美(助教) 平成25年4月 採用 教員の削除(25) 富高梨恵(助教)	
	口腔介護概論	2後	1				1						
	顎口腔機能リハビリテーショ ン演習	3前	2			1	1	2	3	2		教員の追加(24) 担当:村上繁 樹(教授)、富高梨恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 教員の追加(25) 近藤悠美(助教) 平成25年4月 採用 教員の削除(25) 富高梨恵(助教)	
在宅歯科衛生管理論	3前	1					2	1				教員の追加(25) 筒井睦(講師)	
口腔保健指導論	2後	2				1	2						
食生活指導	3前	2				1	2	3	2		教員の追加(24) 担当:富高梨 恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 教員の追加(25) 近藤悠美(助教) 平成25年4月 採用 教員の削除(25) 富高梨恵(助教)		
地域口腔保健学演習	3前	2				1	2	3	2		兼 1	教員の追加(24) 担当:富高梨 恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 兼任教員の追加(25) 古賀由紀子(准教授) 教員の追加(25) 近藤悠美(助教) 平成25年4月 採用 教員の削除(25) 富高梨恵(助教)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	歯科医療管理学	4前	1				1						兼1 兼任教員を追加(25)	
	歯科診療補助論Ⅰ(総論)	2前	1						1					
	歯科診療補助論Ⅱ(各論)	2後	2						1					
	歯科診療補助演習Ⅰ(基礎技術)	2後	2				2	1	2		3	2	教員の追加(24) 担当:富高梨恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 教員の追加(25) 金子憲章(教授)、村上繁樹(教授) 近藤悠美(助教) 平成25年4月採用 教員の削除(25) 富高梨恵(助教)	
	歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術)	3前	2				2	1	2		3	2	教員の追加(24) 担当:富高梨恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 教員の追加(25) 金子憲章(教授)、村上繁樹(教授) 近藤悠美(助教) 平成25年4月採用 教員の削除(25) 富高梨恵(助教)	
	歯科生体材料学	2後	2				1							
	歯科医療安全学	2前	1				1	1	1	2			担当者の変更及び追加(24) 担当:徳永淳也(教授)	
	口腔保健臨床実習Ⅰ(早期臨床実習)	1後	1				3	2	2		2	3	2	教員の追加(24) 担当:徳永淳也(教授)、金子憲章(教授)、村上繁樹(教授)、北田勝浩(准教授)、富高梨恵(助教) 平成23年12月 新規採用 富高梨恵(助教)(24) 教員の削除(25) 富高梨恵(助教)
	口腔保健臨床実習Ⅱ(基礎実習)	2後	2				2	2	2		2		2	教員の追加(25) 金子憲章(教授)、村上繁樹(教授)、北田勝浩(准教授)
	口腔保健臨床実習Ⅲ(歯科診療所)	3後	8				2	2	2		2		2	教員の追加(25) 金子憲章(教授)、村上繁樹(教授)、北田勝浩(准教授)
	口腔保健臨床実習Ⅳ(病院)	3後	6				2	2	2		2		2	教員の追加(25) 金子憲章(教授)、村上繁樹(教授)、北田勝浩(准教授)
	地域支援臨床実習	3後	1				2	2	2		2		2	教員の追加(25) 金子憲章(教授)、村上繁樹(教授)、北田勝浩(准教授)
	発達支援臨床実習Ⅰ(障害児者)	4前	1					1	2		2			
	発達支援臨床実習Ⅱ(高齢者)	4前	1					1	2		2			
選択必修分野	臨床心理学	2後		2			4	1					兼1 教員の変更(24)	
	障害児心理学	2前		2									兼1	
	こころのしくみの理解	1前		2									兼1	
	産業カウンセリング論Ⅰ	2前		2									兼1	
	社会福祉原論Ⅰ	1前		2									兼1	
	社会福祉原論Ⅱ	1後		2									兼1	
	看護学概論	1前		2									兼4	
	介護概論	2前		2									兼1 担当(兼任)の変更(24)	
	生活支援論	1後		2					1				兼9	
	生活支援論演習	4前		2					1				兼5	
	発育発達論	2後		2									兼1	
	地域福祉論Ⅰ	4前		2									兼1	
	地域福祉論Ⅱ	4後		2									兼1	
	社会保障論Ⅰ	4前		2									兼1	
	社会保障論Ⅱ	4後		2									兼1	
	老人福祉論Ⅰ	2前		2									兼1	
障害者福祉論Ⅰ	2前		2									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択必修分野	児童福祉論 I	2前		2								兼 1
	公的扶助論	2前		2								兼 2
	介護保険論	3前		2								兼 1
	福祉法学Ⅱ	2後		2								兼 1
	国際保健活動論	4前		2								兼 1
	社会調査法	4前	2				1					兼 2
	卒業研究	4前		2			4	3 2	2	2		教員の追加(25) 古賀由紀子(准教授)、泉蘭依(助教)、松尾文(助教)
	卒業研究論文	4前		4			4	3 2	2	2		教員の追加(25) 古賀由紀子(准教授)、泉蘭依(助教)、松尾文(助教)
自由選択科目	水泳(アクアビクスを含む)	1前		1								兼 1 資格取得のため科目追加(23)
	陸上競技(ジョギング・ウォーキングを含む)	1後		1								兼 1 資格取得のため科目追加(23)
	スポーツ心理学	1後		2								兼 1 資格取得のため科目追加(23)
	体操(器械体操を含む)	2前		1								兼 1 資格取得のため科目追加(23)
	体力測定・評価	2後		2								兼 1 資格取得のため科目追加(23)
	運動処方論	3後		2								兼 1 資格取得のため科目追加(23)
	エアロビッグ演習	4前		1								兼 1 資格取得のため科目追加(23)
	エアロビッグ実習	4前		1								兼 1 資格取得のため科目追加(23)
	コミュニティロ控保健実習指導	4前		2			1		1			兼 3 教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
	コミュニティロ控保健実習	4後		1			1		1			兼 1 教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
	ライフステージロ控保健実習	4前		1			1		2			教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
63	67	0	130	63	67	11 -8 11 [0]	141 -138 11 [9]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	障害者言語 I (点字)	2	1	一般	選択	兼任講師の担当辞退により未開講 決定次第開講する (25)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

障害者言語 I (点字) は、兼任講師の体調不良の理由により平成25年度の担当を辞退したい旨の申出があった。現在、後任の講師を探しているが、未だ担当者決定には至っていない。引き続き講師を探す。(25)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{130} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 舎 敷 地	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	()書は借用面積 借用地は全て借用期間 平成8年7月から30年間 貸与者 玉名市 新校舎等の建設に伴う 変更(22)			
	校 舎 敷 地	20,649.36㎡ 18,651.49㎡	㎡	㎡	20,649.36㎡ 18,651.49㎡				
	運 動 場 用 地	21,832.58㎡ 23,184.38㎡	㎡	㎡	21,832.58㎡ 23,184.38㎡				
	小 計	42,481.94㎡ 41,835.87㎡	㎡	㎡	42,481.94㎡ 41,835.87㎡				
	そ の 他	88,193.06㎡ 88,839.13㎡	㎡	㎡	88,193.06㎡ 88,839.13㎡				
	合 計	130,675.00㎡ (69,197.00㎡)	㎡	㎡	130,675.00㎡ (69,197.00㎡)				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 4,380.91㎡ 4,400.00㎡新築 平成22年3月完成 登記面積による減(22) ()書は開設時			
		21,695.33㎡ 21,714.42㎡ (21,695.33㎡) (21,714.42㎡)	()	()	21,695.33㎡ 21,714.42㎡ (21,695.33㎡) (21,714.42㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体			
	30室	5室 (セキ -16室) (セキ -18室)	26室	4室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		教授、准教授、講師は個 室、助教、助手は数名で の共同研究室()書は共 同研究室 ※研究室 入室による増加(25)			
	看護福祉学部 口腔保健学科 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科			10(1) 9(1)- 7(1) 11(1) 10(1)- 8(1)					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	看護福祉学部	47,445 [9,783] 52,791 [9,936] 51,097 [9,903] 49,559 [9,860] 48,437 [9,806] (47,445 [9,783])	366 [102] 403 [117] 398 394 [112] (366 [102])	3 [3] 17 [17] 15 [15] 8 [8] (3 [3])	1,012 1,185 1,137 1,107 1,053 (1,012)	1,611 1,643 (1,611)	303 353 (303)		
	計	47,445 [9,783] 52,791 [9,936] 51,097 [9,903] 49,559 [9,860] 48,437 [9,806] (47,445 [9,783])	366 [102] 403 [117] 398 394 [112] (366 [102])	3 [3] 17 [17] 15 [15] 8 [8] (3 [3])	1,012 1,185 1,137 1,107 1,053 (1,012)	1,643 (1,611)	353 (303)		
							()書は開設時		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	1086.00㎡	155席		92,611冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	1367.02㎡	多 目 的 グ ラ ウ ン ド 1 面 テ ニ ス コ ー ト 1 面							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	教員1人当り研究費等… 教授50万、准教授・講師・ 助教40万を教員数で按 分(25) 図書購入費…大学全 体、運用コストを含 む。既存予算学科の予 算執行による減額(25) 設備購入費…アスレチック レーナ養成課程のトレー ニング 機器による増額(22)
		教員1人 当り研究 費等	鍼灸スポーツ学科	520千円 400千円 533千円	図書購入費	18,699千円 19,455千円	8,266千円 8,640千円	7,583千円 — 千円	
			口腔保健学科	511千円 550千円					
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	167,660千円 156,765千円	— 千円	— 千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		口腔保健学科	1,065千円	865千円	865千円	865千円	— 千円	— 千円	
		鍼灸スポーツ学科	1,455千円	1,255千円	1,255千円	1,255千円	— 千円	— 千円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要		私立大学等経常費補助金、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	九州看護福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
看護福祉学部 看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.12 1.22	平成10年度	熊本県玉名市 富尾888番地	平成22年度より 入学定員減 200→110(△90)
社会福祉学科	4	110	—	440	学士 (社会福祉学)	1.07	平成10年度		
リハビリテーション学科	4	60	—	240	学士 (理学療法学)	1.24	平成18年度		
鍼灸スポーツ学科	4	40	—	160	学士 (鍼灸スポーツ学)	1.24	平成22年度		
口腔保健学科	4	50	—	200	学士 (口腔保健学)	0.83	平成22年度		
看護福祉学研究所 看護学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学)	0.41 0.50	平成15年度		
精神保健学専攻	2	12	—	24	修士 (精神保健学)	0.33	平成17年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
専	教授	中井さち子(61)	平成22年4月					鍼灸基礎理論 はりきゅう理論Ⅱ 社会鍼灸学演習 きゅう基礎実習Ⅱ 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※6-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	鍼灸基礎理論 きゅう基礎実習Ⅱ 鍼灸臨床実習Ⅲ(※6-7鍼灸)	負担軽減のため科目担当変更(24) 負担軽減のため科目担当変更(23) 負担軽減のため科目担当変更(25)
							平成25年4月	鍼灸基礎理論	村上高康(講師)の退職に伴う担当者変更(25)	
専	教授	吉塚亮一(47)	平成22年4月	専	特任准教授 准教授	藤木実(60)	平成23年4月	経絡経穴学概論Ⅰ 経絡経穴学概論Ⅱ 東洋医学臨床Ⅰ 東洋医学臨床Ⅱ 社会鍼灸学 はり基礎実習Ⅱ 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※6-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	経絡経穴学概論Ⅰ 経絡経穴学概論Ⅱ 東洋医学臨床Ⅰ 東洋医学臨床Ⅱ 社会鍼灸学 はり基礎実習Ⅱ 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※6-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	負担軽減のため科目担当変更(23) 負担軽減のため科目担当変更(24) はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22) 平成24年3月31日付で定年退職の理由により、准教授から特任准教授へ職名変更(24) 負担軽減のため科目担当から外した(25)
							平成25年4月	鍼灸医学総合演習	担当者変更(25)	
							平成25年4月	鍼灸基礎理論	村上高康(講師)の退職に伴う後任の担当(25)	
専	教授	山下忍(58)	平成22年4月		専	助教	井手裕子(35)	平成25年9月	トレーニング科学	平成25年4月 井手裕子助教就任のため、担当者変更(25)
				兼任	講師	松本直幸(45)	平成23年9月	生理学Ⅲ(講義・演習)	負担軽減のため科目担当変更(23) 上述の理由により担当者の変更(24) 運動学を担当するため、当該科目の担当を外した(25)	
				専	教授	齋田和孝(50)	平成25年4月	生理学Ⅲ(講義・演習)	専任教員の担当とした(25)	
				兼任	講師	松本直幸(45)	平成25年9月	運動生理学	負担軽減のため科目担当変更(25)	
				兼任	講師	玉江和義(42)	平成24年8月	トレーニング論	負担軽減のため科目担当変更(24)	
				兼任	講師	後藤貴浩(46)	平成24年9月	スポーツ指導論	負担軽減のため科目担当変更(24)	
								研究方法論 卒業研究 卒業研究論文		
								運動学 武道(剣道)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)	
専	教授	野崎和義(56)	平成22年4月					法学Ⅰ 法学Ⅱ(日本国憲法) 医事法規 生活支援論 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	研究方法論	負担軽減のため科目担当変更(25)

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
専	准教授	野口恭庸(46)	平成22年4月						
							平成24年4月	社会鍼灸学演習	教育課程の充実を図るため担当科目の追加(24)
							平成24年4月	臨床コミュニケーション論	井上晴豪の懲戒解雇の理由により担当科目の追加(24) 担当者から外した(25)
							平成25年4月	鍼灸基礎理論	村上高康(講師)の退職に伴う後任の担当(25)
				専	准教授	塚本紀之(46)	平成24年4月	鍼灸安全管理学 はりきゅう理論Ⅱ 社会鍼灸学演習 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸)	兼任に伴う担当科目の追加(24) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) 負担軽減のため担当者から外した(25)
							平成25年4月	臨床コミュニケーション	担当者変更(25)
							平成25年9月	はり基礎実習Ⅱ	担当者追加(25)
							平成25年4月	鍼灸治療所実習Ⅰ	
							平成25年9月	鍼灸治療所実習Ⅱ	
							平成24年9月	研究方法論	
							平成25年4月	卒業研究	
							平成25年4月	卒業研究論文	
専	准教授	井上晴豪(41)	平成22年4月	専	助教	井上晴豪(43)	平成22年4月	社会鍼灸学演習 はり基礎実習Ⅰ はり基礎実習Ⅱ きゅう基礎実習Ⅰ きゅう基礎実習Ⅱ 臨床コミュニケーション 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸)	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による担当科目及び職名の変更 「東洋医学臨床論Ⅰ」、「東洋医学臨床論Ⅱ」、「社会鍼灸学」、「研究方法論」、「卒業研究」、「卒業研究論文」は、他に専任教員がいるため支障はない。(22)
								懲戒解雇	平成23年10月懲戒解雇(24)
専	講師	宮崎彰吾(36)	平成22年4月	専	講師	村上高康(34)	平成22年4月	経絡経穴学概論Ⅰ 鍼灸安全管理学 きゅう基礎実習Ⅰ 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ スポーツ障害の評価 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	経絡経穴学概論Ⅰ 経絡経穴学概論Ⅱ 経絡経穴学概論Ⅱ 東洋医学臨床論Ⅰ 東洋医学臨床論Ⅱ 鍼灸安全管理学 社会鍼灸学演習 臨床コミュニケーション 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
								鍼灸基礎理論	中井さち子(教授)の負担軽減の理由により担当科目の追加(24)
								社会鍼灸学	井上晴豪の懲戒解雇の理由により担当科目の追加(24)
				専	講師	村上高康(35)			平成25年3月31日付退職(25)
				兼任	講師	常盤直孝(43)	平成22年4月	スポーツ障害の評価	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
専	講師	川口 顕 (49)	平成22年4月	解剖学Ⅲ (講義・演習)	専	教授	齋田和孝 (47)	平成22年4月	解剖学Ⅲ (講義・演習)	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
				生理学Ⅲ (講義・演習)					生理学Ⅲ (講義・演習)	
					兼任	講師	松本直幸 (45)	平成23年9月	生理学Ⅲ (講義・演習)	上述の理由により担当者の変更(24) ※山下忍(教授) 運動生理学を担当してもらうため、生理学Ⅲ(講義・演習)の担当を外した(25)
				リハビリテーション概論						リハビリテーション概論
					兼任	教授	川俣幹雄 (54)	平成23年4月	リハビリテーション概論	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
				鍼灸医学総合演習 社会鍼灸学演習 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文					鍼灸医学総合演習 社会鍼灸学演習 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22) 鍼灸医学総合演習 負担軽減のため担当者変更(25)
					専	講師	田口太郎 (45)	平成22年4月	きゅう基礎実習Ⅰ	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
				きゅう基礎実習Ⅱ					はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)	
								平成25年4月	臨床コミュニケーション	担当者変更(25)
								平成22年4月	はりきゅう理論Ⅰ	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22)
専	助教	星 慎一郎 (35)	平成23年4月	はりきゅう理論Ⅰ	専	助教	浅井福太郎 (29)	平成22年4月	はりきゅう理論Ⅱ 社会鍼灸学演習 臨床コミュニケーション はり基礎実習Ⅰ はり基礎実習Ⅱ きゅう基礎実習Ⅰ きゅう基礎実習Ⅱ 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ	担当者の変更(24) はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更(22) 担当者の変更(24) 担当者の変更(24)
				はりきゅう理論Ⅱ 社会鍼灸学演習 臨床コミュニケーション はり基礎実習Ⅰ はり基礎実習Ⅱ きゅう基礎実習Ⅰ きゅう基礎実習Ⅱ 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ					村上高康(講師)の退職に伴う後任の担当(25)	
									卒業研究	担当者追加(25)
									卒業研究論文	担当者追加(25)
									臨床コミュニケーション	担当者の変更(24)
									はり基礎実習Ⅰ	担当者の変更(24)
									はり基礎実習Ⅱ	担当者の変更(24)
									きゅう基礎実習Ⅰ	平成23年4月 新規採用(23)
									きゅう基礎実習Ⅱ	
										鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 社会鍼灸学演習
		平成25年4月	卒業研究	担当者追加(25)						
		平成25年4月	卒業研究論文	担当者追加(25)						
専	講師	内田匠治 (36)	平成25年4月	鍼灸基礎理論 経絡経穴概論Ⅰ 経絡経穴概論Ⅱ 東洋医学臨床Ⅰ 東洋医学臨床Ⅱ 鍼灸医学総合演習 社会鍼灸学 鍼灸臨床実習Ⅰ(内科系) 鍼灸臨床実習Ⅱ(外科系) 鍼灸臨床実習Ⅲ(※-7鍼灸) 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 卒業研究 卒業研究論文		平成25年4月 内田匠治講師就任のため、平成25年度より担当(25)				

設置時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
									トレーニング科学 救急処置法 身体の測定・評価 スポーツコンディショニング テーピングコンディショニング アスレティックトレーナー専門実習Ⅰ アスレティックトレーナー専門実習Ⅱ アスレティックトレーナー専門実習Ⅲ アスレティックトレーナー専門実習Ⅳ アスレティックトレーナー専門実習Ⅴ アスレティックトレーナー専門実習Ⅵ 健康教育概論 フィットネスマネジメント実習 スポーツ医学演習 卒業研究 卒業研究論文	平成25年4月 井手裕子助教就任のため、 平成25年度より担当(25)	
兼任	教授	二塚 信 (70)	平成22年4月	保健福祉論 生活支援論							
兼任	教授	志賀 潔 (68)	平成22年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ(講義・演習)					生理学Ⅲ(講義・演習)	負担軽減のため科目担当 変更(23) 齋田和孝(教授)へ変更(25)	
兼任	教授	生野繁子 (53)	平成22年4月	生活支援論							
兼任	教授	柴田恵子 (48)	平成22年4月	生命倫理 看護学概論							
兼任	教授	樋口マキエ (65)	平成22年4月	医用工学 病理学 薬理学							
兼任	教授	吉光 清 (61)	平成22年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 生活支援論							
兼任	教授	熱田一信 (68)	平成22年4月	発達心理学 カウンセリング論 精神保健Ⅰ 臨床心理学					発達心理学 臨床心理学	負担軽減のため科目担当 変更(24) 負担軽減のため科目担当 変更(24)	
兼任	教授	安藤 学 (56)	平成22年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ							
兼任	教授	佐藤林正 (61)	平成23年4月	地域保健論							
兼任	教授	西島衛治 (59)	平成22年4月	人間工学							
兼任	教授	水野裕重 (61)	平成22年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ					情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	担当者統一の理由により森信之(教授) が担当(24)	
兼任	教授	森 信之 (48)	平成22年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ							
兼任	教授	山本 務 (61)	平成22年4月	哲学 比較文化論 ドイツ語							
兼任	教授	濱田輝一 (56)	平成22年4月	生活支援論 身体の測定・評価	専 助教	井手裕子 (35)	平成25年4月	身体の測定・評価	平成25年4月 井手裕子助教就任のため、平成25年度 より担当(25)		
					兼任 講師	倉野久美 (42)	平成25年4月	身体の測定・評価		授業内容の充実を図るため担当(25)	
兼任	教授	加藤 浩 (41)	平成23年4月	バイオメカニクス リハビリテーション医学			後任未定		リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程 の改正の理由により、兼任講師へ変 更、現在兼任講師は未定(24)	
									スポーツ医学概論	資格取得に関わるシラバスの一部変更 による担当科目の追加・修正(23) 平崎和雄(准教授)単独による担当とし たため、担当者から外した(25)	

設置時の計画				変更状況				備考					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名				
兼任	教授	川俣幹雄(54)	平成23年4月			後任未定		リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程の改正の理由により、兼任講師へ変更、現在兼任講師は未定(24) 担当者から外した(25)				
					専	講師	田口太郎(46)		生活支援論演習	担当者変更(25)			
										リハビリテーション概論	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更に伴い担当科目の追加(24)		
兼任	教授	肥後成美(56)	平成23年4月		専	教授	斎田和孝(50)	平成25年9月	臨床医学各論VI(脳神経疾患・婦人科系疾患)	専任教員の担当とした(25)			
							後任未定			リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程の改正の理由により、兼任講師へ変更、現在兼任講師は未定(24)		
					兼任	助教	吉田勇一(47)	平成25年4月	リハビリテーション医学	担当者変更(25)			
	兼任	助教	中野聡太(32)	平成25年4月	リハビリテーション医学								
兼任	准教授	AJサポラント(56)	平成22年4月										
					兼任	講師	江口元子(72)	平成24年4月	英会話 I	担当コマ数が増のため、江口元子兼任講師へ担当を変更(24)			
兼任	准教授	久佐賀真理(52)	平成22年4月										
兼任	准教授	齋田和孝(47)	平成22年4月		専	教授							
										生理学 I 生理学 II 研究方法論 卒業研究 卒業研究論文	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による変更(兼任→専任)、担当科目追加及び平成22年4月教授昇格(22)		
								平成25年4月	救急処置法	健康運動士講師要件で医師免許を有する者が規定されているため、担当者を追加(25)			
兼任	准教授	福本久美子(56)	平成22年4月			教授				平成22年4月教授昇格(22)			
兼任	准教授	李玄玉(49)	平成22年4月										
兼任	准教授	金蘭九(58)	平成22年4月			教授				平成22年4月教授昇格(22)			
兼任	准教授	山本孝司(39)	平成22年4月										
					兼任	准教授	永田俊明(54)	平成24年4月 平成24年9月	発達心理学 臨床心理学	前任者の担当辞退の理由により担当者の変更(24)			
兼任	准教授	大池貴之(38)	平成23年4月				後任未定		リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程の改正の理由により、兼任講師へ変更、現在兼任講師は未定(24)			
兼任	准教授	永崎孝之(47)	平成23年4月				後任未定		リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程の改正の理由により、兼任講師へ変更、現在兼任講師は未定(24)			
兼任	講師	川本起久子(48)	平成22年4月						生命倫理				
兼任	講師	上妻尚子(47)	平成22年4月						看護学概論				
兼任	講師	藤田美貴(45)	平成22年4月		兼任	助教	伊藤美恵子(49)	平成22年4月	看護学概論	平成22年3月退職にともなう担当者変更(22)			
										伊藤美恵子(51)		平成23年3月31日退職(24)	
												平成22年10月准教授昇格(23)	
兼任	講師	古賀由紀子(51)	平成23年4月		専	助教	井手裕子(35)	平成25年4月	救急処置法	兼任から専任へ変更(25)			
												学校保健	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
												健康教育概論	アスレティックトレーナー科目として追加(22) 担当者から外した(25)
兼任	講師	姫野建二(57)	平成22年4月						社会福祉原論 I				

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	真殿仁美(34)	平成22年4月	—		准教授				平成22年10月准教授昇格(23)
				比較文化論	※					平成25年3月退職(25) ※比較文化論は残りの3名(山本務、金蘭丸、A.J.ザグランド)が担当(25)
				中国語会話	兼任	助教	高継芬(44)	平成25年4月	中国語会話	
兼任	講師	水上幸代(48)	平成22年4月	生活支援論						
兼任	講師	吉岡久美(48)	平成25年4月	生活支援論演習	兼任	講師	河谷はるみ(40)	平成25年4月	生活支援論演習	担当者変更(25)
兼任	講師	浅海靖恵(42)	平成23年4月	リハビリテーション医学			後任未定		リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程の改正の理由により、兼任講師へ変更、現在兼任講師は未定(24) 当該科目を担当(25)
				身体の測定・評価					身体の測定・評価	負担軽減による科目担当変更(23)
兼任	講師	五島佳子(45)	平成23年4月	—			大浦佳子(47)			平成24年4月改姓(25)
				リハビリテーション医学			後任未定		リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程の改正の理由により、兼任講師へ変更、現在兼任講師は未定(24) 当該科目を担当(25)
兼任	講師	森下志子(37)	平成23年4月	リハビリテーション医学			後任未定		リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程の改正の理由により、兼任講師へ変更、現在兼任講師は未定(24)
				身体の測定・評価					身体の測定・評価	負担軽減による科目担当変更(23)
兼任	助教	坂口里美(31)	平成25年4月	生活支援論演習						
兼任	助教	中川武子(47)	平成25年4月	生活支援論演習		講師				平成23年4月講師昇格(23)
兼任	助教	福留英明(39)	平成23年4月	リハビリテーション医学			後任未定		リハビリテーション医学	平成23年度リハビリテーション学科の教育課程の改正の理由により、兼任講師へ変更、担当者から外した(25)
				身体の測定・評価					身体の測定・評価	負担軽減による科目担当変更・オムニス(23) 担当者から外した(25)
					専	助教	井手裕子(35)	平成25年4月	身体の測定・評価	平成25年4月井手裕子助教就任のため、平成25年度より担当(25)
					兼任	講師	倉野久美(42)	平成25年4月	身体の測定・評価	授業内容の充実を図るため担当(25)
兼任	助教	吉田勇一(44)	平成23年4月	身体の測定・評価					身体の測定・評価	専任教員赴任による科目担当変更(23)
兼任	講師	藤原大樹(29)	平成22年4月	スポーツ心理学 発育発達論 メンタルマネジメント論					ラグビー・サッカー	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
兼任	講師	根上 優(62)	平成22年4月	スポーツ社会学	兼任	教授	安藤学(59)	平成25年9月	スポーツ社会学	兼任講師の担当辞退に伴う担当者変更(25)
兼任	講師	中宮光隆(63)	平成22年4月	経済学						
兼任	講師	佐藤嘉倫(37)	平成23年4月	コミュニケーション論						
兼任	講師	江口元子(70)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ(医療英語)					平成24年4月 英会話Ⅰ	A.J.ザグランド准教授の担当辞退により担当科目を追加(24)
兼任	講師	田上 統(71)	平成22年4月	障害者言語Ⅰ(点字)			後任未定			兼任講師の担当辞退に伴い、担当者未定(25)
兼任	講師	梶原初子(63)	平成22年4月	障害者言語Ⅱ(手話)						
兼任	講師	木下紘一(69)	平成22年4月	基礎生物学						
兼任	講師	有松徳樹(68)	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	星野輝彦(53)	平成23年4月	環境衛生学						
兼任	講師	中村直美(67)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	浅井 篤(47)	平成22年4月	生命倫理						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	山口和宏(35)	平成22年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ					情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	兼任教員による科目担当に変更(23)
兼任	講師	千場梅子(57)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	橋田昌弘(53)	平成22年4月	医用工学 臨床医学総論Ⅰ	専	教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	臨床医学総論Ⅰ	専任教員として就任したため担当者変更(22)
兼任	講師	肥合康弘(48)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	富吉勝美(57)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	荒木不次男(53)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	片瀬美和子(55)	平成23年4月	スポーツ医学概論 臨床医学各論Ⅵ(脳神経疾患・婦人科系疾患)	兼任	講師	佐々木瑠美(35)	平成25年9月	臨床医学各論Ⅵ(脳神経疾患・婦人科系疾患)	平崎和雄(准教授)単独による担当としたため、担当者から外した(25) 担当辞退の理由により担当者変更(25)
兼任	講師	大河原進(60)	平成23年4月	病理学 臨床医学総論Ⅰ	専	教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	臨床医学総論Ⅰ	専任教員として就任したため担当者変更(22)
兼任	講師	水本圭彦(45)	平成23年4月	臨床医学各論Ⅲ(整形外科) 臨床医学各論Ⅳ(スポーツ障害)			後任未定		臨床医学各論Ⅳ(スポーツ障害)	担当辞退の理由により担当者変更、現在後任は未定(24)
					兼任	講師	忽那龍雄(74)	平成25年4月	臨床医学各論Ⅳ(スポーツ障害)	担当辞退の理由により担当者変更(25)
兼任	講師	北川慶子(60)	平成24年4月	社会保障論	兼任	講師	河谷はるみ(38)	平成24年4月	社会保障論	兼任教員による科目担当に変更(23)
兼任	講師	菊池健(58)	平成22年4月	看護学概論					看護学概論	担当辞退(25)
兼任	講師	中村洋子(60)	平成22年4月	生活栄養学	兼任	講師	田中真知子(56)	平成23年4月	生活栄養学(ｽｽﾞｰﾝ栄養学Ⅰ)	科目名称及び兼任講師都合による科目担当者変更(23)
兼任	講師	行實鉄平(34)	平成23年4月	スポーツ経営学				平成22年4月	水泳(アクアビクスを含む)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)
兼任	講師	秋月美和(42)	平成23年4月	健康管理とスポーツ医学			後任未定		健康管理とスポーツ医学	担当辞退の理由により担当者変更、現在後任は未定(24) 平成24年度は兼任講師で開講したが、平成25年度は担当辞退の申し出があり、現在担当者が未定。平成25年度も兼任講師で計画(25)
兼任	講師	常盤直孝(43)	平成22年4月	スポーツコンディショニング概論 アスレティックリハビリテーション論 アスレティックリハビリテーションⅠ アスレティックリハビリテーションⅡ 身体の測定・評価 テーピングコンディショニング	兼任	講師	坂本大海(34)	平成23年4月	身体の測定・評価 テーピングコンディショニング	兼任教員都合による担当科目の減少による変更(23) 担当辞退の理由により担当者の変更(兼任)(24)
					兼任	講師	岩上明治(49)	平成24年9月	テーピングコンディショニング	前任者の担当辞退の理由により担当者の変更(24)
					専	准教授	平崎和雄(45)	平成22年4月	アスレティックトレーナー概論 スポーツコンディショニング アスレティックトレーナー専門実習Ⅰ アスレティックトレーナー専門実習Ⅱ アスレティックトレーナー専門実習Ⅲ アスレティックトレーナー専門実習Ⅳ アスレティックトレーナー専門実習Ⅴ アスレティックトレーナー専門実習Ⅵ	負担軽減及び専任教員として就任したため担当者変更(22)
									健康教育概論	ｱｽﾚｯﾁﾄﾞﾚｰﾅｰ科目として追加(22) 担当者から外した(25)
									運動器の解剖と機能Ⅰ 運動器の解剖と機能Ⅱ	ｱｽﾚｯﾁﾄﾞﾚｰﾅｰ科目として追加(22)
									身体の測定・評価	専任教員による科目担当に変更・兼任(23)
									体力の測定・評価	健康運動指導士科目として追加(23)
									運動処方論	健康運動指導士科目として追加(23)
									フィットネスマネジメント実習	健康運動指導士科目として追加(23)
									スポーツ医学概論	単独による担当とした(25)

設置時の計画				変更状況				備考				
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	田中真知子(56)	平成23年4月	スポーツ栄養学	兼任	講師	高山仁子(44)	平成24年4月	ｽﾎﾟｰﾂ栄養学Ⅱ	ﾌﾟﾚﾊﾞﾝﾄﾞﾄﾚｰﾅｰ科目として追加(23)		
					兼任	講師	押方玲香(32)	平成24年4月	ｽﾎﾟｰﾂ栄養学Ⅱ	前任者の担当辞退の理由により担当者の変更(24)		
兼任	講師	坂本大海(33)	平成23年4月	コーチング論	兼任	講師	後藤貴浩(46)	平成24年9月	コーチング論	前任者の担当辞退の理由により担当者の変更(24)		
兼任	講師	藤崎道子(42)	平成25年4月	エアロビッング概論 エアロビッング実習					エアロビッング演習	健康運動実践指導者科目として追加(23)		
兼任	講師	田宮貞宏(44)	平成23年4月	臨床医学総論Ⅱ	専	教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	臨床医学総論Ⅱ	専任教員として就任したため担当者変更(22)		
兼任	講師	牛島正人(56)	平成23年4月	臨床医学各論Ⅰ(呼吸器・循環器系)	兼任	講師	稲葉惠(38)	平成23年4月	臨床医学各論Ⅰ(呼吸器・循環器系)	兼任講師都合による科目担当者変更(23)		
					専	教授	齋田和孝(50)	平成25年4月	臨床医学各論Ⅰ(呼吸器・循環器系)	専任教員の担当とした(25)		
兼任	講師	古森顕一(53)	平成23年4月	臨床医学各論Ⅰ(呼吸器・循環器系)	兼任	講師	崎山博司(50)	平成23年4月	臨床医学各論Ⅰ(呼吸器・循環器系)	兼任講師都合による科目担当者変更(23)		
					専	教授	齋田和孝(50)	平成25年4月	臨床医学各論Ⅰ(呼吸器・循環器系)	専任教員の担当とした(25)		
兼任	講師	藤澤章二(59)	平成23年4月	臨床医学各論Ⅱ(消化器系含む泌尿器系)	兼任	講師	柴田興彦(70)	平成23年9月	臨床医学各論Ⅱ(消化器系含む泌尿器系)	兼任講師都合による科目担当者変更(23)		
兼任	講師	福島英生(59)	平成24年4月	臨床医学各論Ⅴ(皮膚・免疫系)	兼任	講師	平野雄(54)	平成24年5月	臨床医学各論Ⅴ(皮膚・免疫系)	福島英生兼任講師の担当辞退により担当者の変更(24)		
					専	教授	齋田和孝(50)	平成25年4月	臨床医学各論Ⅴ(皮膚・免疫系)	専任教員の担当とした(25)		
										生活習慣予防学	健康運動指導士科目として追加(23)	
								後任未定		生活習慣予防学	福島英生兼任講師の担当辞退により、現在後任の兼任講師を探している(24)	
							兼任	教授	熊本俊秀(66)	平成25年9月	生活習慣予防学	平成25年4月熊本俊秀教授就任のため、平成25年度より担当(25)
										スポーツ医学演習	健康運動指導士科目として追加(23)	
									後任未定	福島英生兼任講師の担当辞退により、現在後任の兼任講師を探している(24)担当者未定(25)		
					兼任	講師	山下和彦(56)	平成22年4月	体育原理	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)		
					兼任	講師	榊原浩晃(49)	平成22年4月	体育原理	前任者の担当辞退の理由により担当者の変更(24)		
					兼任	講師	内柴正人(33)	平成22年4月	武道(柔道)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)		
					専	客員教授	内柴正人(34)			平成23年1月1日付客員教授就任(24)		
							内柴正人(34)		懲戒解雇	平成23年11月29日付懲戒解雇(24)		
					兼任	講師	土橋敏郎(61)	平成24年4月	武道(柔道)	前任者の懲戒解雇の理由により担当者の変更(24)		
					兼任	講師	柿本真弓(52)	平成22年9月	ダンス(エアロビクス含む)体操(器械体操を含む)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)		
					兼任	講師	藤崎道子(52)	平成24年4月	ダンス(エアロビクス含む)体操(器械体操を含む)	前任者の担当辞退の理由により担当者の変更(24)		
					兼任	講師	玉江和義(40)	平成22年4月	陸上競技(ｼﾞｮｷﾝｸﾞ・ｻﾞｰｷﾝｸﾞを含む)	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)		
					兼任	講師	福岡 勲(69)	平成23年9月	バレー・バスケット	教職科目からの科目区分変更による担当科目追加(22)		
					兼任	講師	越智龍弥(52)	平成25年4月	リハビリテーション医学	授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)		
					兼任	講師	倉野久美(42)	平成25年4月	救急処置法	授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)		

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A0)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
4	2	2	1	9	4	4	2	3	13	教授 68 准教授・専任講師 62 助教・助手 60	教授 0 准教授・専任講師 1 助教・助手 0
(4)	(2)	(2)	(2)	(10)	[0]	[2]	[0]	[2]	[4]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	吉塚 亮一	鍼灸スポーツ学科で取得する「はり師きゅう師国家試験受験資格」の養成施設認定申請において、専任教員としての認定審査で「不可」の判定であったため、就任辞退となった。(22)
2	講師	宮崎 彰吾	鍼灸スポーツ学科で取得する「はり師きゅう師国家試験受験資格」の養成施設認定申請において、専任教員としての認定審査で「不可」の判定であったため、就任辞退となった。(22)
3	講師	川口 顕	鍼灸スポーツ学科で取得する「はり師きゅう師国家試験受験資格」の養成施設認定申請において、専任教員としての認定審査で「不可」の判定であったため、就任辞退となった。(22)
4	講師	星 慎一郎	鍼灸スポーツ学科で取得する「はり師きゅう師国家試験受験資格」の養成施設認定申請において、専任教員としての認定審査で「不可」の判定であったため、就任辞退となった。(22)
5	助教	井上 晴豪	学校法人熊本城北学園就業規則第63条第7項に則り、懲戒解雇処分とした(平成23年10月21日付)。(24)
6	客員教授	内柴 正人	学校法人熊本城北学園就業規則第63条第5項に則り、懲戒解雇処分とした(平成23年11月29日付)。(24)
7	講師	村上 高康	退職(25)

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>担当予定科目については、後任の専任教員6名が担当することとし、履修上の支障はない。 なお、学生へは、新年度オリエンテーション及びシラバスで変更を周知した。(22)</p> <p>井上晴豪及び内柴正人の懲戒解雇処分については、全学生、全学生の保証人、全教職員、兼任講師及び学外実習施設等の関係機関に対し、文書による説明・謝罪並びに今後の大学の在り方等について通知した。また、学生に対しては、本学体育館に全学生を集め、理事長から口頭で事情説明を行った。本件にかかる上記2名の後任の担当者については、井上晴豪の後任には専任教員、内柴正人については兼任講師の担当をもって調整した。(24)</p> <p>村上高康が担当していた科目については、後任の内田匠治(講師)が担当した。学生への周知方法としては、シラバスをもって周知した。(25)</p>

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<看護福祉学部 口腔保健学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	徳永淳也(42)	平成22年4月	公衆衛生学 口腔保健統計学 地域歯科衛生学 歯科医療管理学 社会調査法 卒業研究 卒業研究論文						
								平成25年4月 平成25年9月	歯科医療安全学 口腔保健臨床実習Ⅰ(早期臨床実習) コミュニティ口腔保健実習指導 コミュニティ口腔保健実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24) 平成25年度から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
専	教授	村上繁樹(64)	平成22年4月	歯科補綴学 発達矯正歯科学 発達歯科学Ⅲ(高齢者) 歯科生体材料学 卒業研究 卒業研究論文						平成22年度中に本人担当科目が無いため就任時期の調整を行った(22)
									臨床歯科医学概論 口腔疾患予防学演習Ⅰ(基礎技術) 口腔疾患予防学演習Ⅱ(う蝕予防) 顎口腔機能リハビリテーション演習 口腔保健臨床実習Ⅰ(早期臨床実習)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
								平成25年9月 平成25年4月 平成25年9月 平成25年9月 平成25年9月 平成25年9月	歯科診療補助演習Ⅰ(基礎技術) 歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術) 口腔保健臨床実習Ⅱ(基礎実習) 口腔保健臨床実習Ⅲ(歯科診療所) 口腔保健臨床実習Ⅳ(病院) 地域支援臨地実習	授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)
専	教授	金子憲章(54)	平成22年4月	口腔微生物学 臨床歯科医学概論 歯科保存学 歯周病治療学 卒業研究 卒業研究論文						
									口腔疾患予防学演習Ⅰ(基礎技術) 口腔疾患予防学演習Ⅱ(う蝕予防) 口腔保健臨床実習Ⅰ(早期臨床実習)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
								平成25年9月 平成25年4月 平成25年9月 平成25年9月 平成25年9月 平成25年9月	歯科診療補助演習Ⅰ(基礎技術) 歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術) 口腔保健臨床実習Ⅱ(基礎実習) 口腔保健臨床実習Ⅲ(歯科診療所) 口腔保健臨床実習Ⅳ(病院) 地域支援臨地実習	授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)
専	教授	山本 務(61)	平成22年4月	哲学 倫理学 比較文化論 ドイツ語 卒業研究 卒業研究論文						
専	准教授	北田勝浩(48)	平成22年4月	口腔微生物学 口腔保健衛生学 地域歯科衛生学 発達歯科学Ⅰ(小児) 口腔疾患予防学 卒業研究 卒業研究論文						平成22年度中に本人担当科目が「口腔保健衛生学」の1科目しかないため就任時期の調整を行った。「口腔保健衛生学」については非常勤講師として開講する(22)
									臨床歯科医学概論	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
								平成25年9月 平成25年4月 平成25年9月 平成25年9月 平成25年9月 平成25年9月	口腔疾患予防学演習Ⅱ(う蝕予防) 歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術) 口腔保健臨床実習Ⅰ(早期臨床実習) 口腔保健臨床実習Ⅱ(基礎実習) 口腔保健臨床実習Ⅲ(歯科診療所) 口腔保健臨床実習Ⅳ(病院) 地域支援臨地実習	授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)
専	准教授	田中千穂子(60)	平成22年4月	歯科衛生学概論 口腔疾患予防学演習Ⅰ(基礎技術) 口腔疾患予防学演習Ⅱ(う蝕予防) 口腔疾患予防学演習Ⅲ(歯周病予防) 口腔介護概論 顎口腔機能リハビリテーション演習 口腔保健指導論 食生活指導 地域口腔保健学演習 歯科診療補助演習Ⅰ(基礎技術) 歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術) 歯科医療安全学		特任准教授				平成24年3月31日付で定年退職の理由により、准教授から特任准教授へ職名変更(24)

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	准教授	田中千穂子(60)	平成22年4月					
							平成25年4月	ライフステージ口腔保健実習 平成25年度から教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
専	講師	筒井 睦(51)	平成22年4月					
							平成25年4月	在宅歯科衛生管理論 在宅歯科衛生管理論を担当するため、担当者から外した(25)
							平成25年4月	在宅歯科衛生管理論 授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)
専	講師	淀川尚子(46)	平成22年4月					
							平成25年4月 平成25年9月	コミュニティ口腔保健実習指導 コミュニティ口腔保健実習 平成25年度から教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
専	助教	泉 蘭依(31)	平成22年4月					
							平成25年4月 平成25年4月	卒業研究 卒業研究論文 担当者追加(25)
							平成25年4月	ライフステージ口腔保健実習 平成25年度から教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
専	助教	牛嶋文(28)	平成22年4月			松尾文(30)		<p>口腔疾患予防学演習Ⅰ(基礎技術)</p> <p>口腔疾患予防学演習Ⅱ(う蝕予防)</p> <p>口腔疾患予防学演習Ⅲ(歯周病予防)</p> <p>顎口腔機能ハビリテーション演習</p> <p>食生活指導</p> <p>地域口腔保健学演習</p> <p>歯科診療補助演習Ⅰ(基礎技術)</p> <p>歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術)</p> <p>歯科医療安全学</p> <p>口腔保健臨床実習Ⅰ(早期臨床実習)</p> <p>口腔保健臨床実習Ⅱ(基礎実習)</p> <p>口腔保健臨床実習Ⅲ(歯科診療所)</p> <p>口腔保健臨床実習Ⅳ(病院)</p> <p>地域支援臨地実習</p> <p>発達支援臨地実習(障害(児)者)</p> <p>発達支援臨地実習Ⅱ(高齢者)</p>	<p>平成24年4月改姓(24)</p> <p>ライフステージ 口腔保健実習を担当するため、担当者から外した(25)</p>
							平成25年4月	卒業研究	担当者追加(25)
							平成25年4月	卒業研究論文	
							平成25年4月	ライフステージ 口腔保健実習	平成25年度から教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
				専	助教	富高梨恵(32)	平成23年12月	<p>口腔疾患予防学演習Ⅰ(基礎技術)</p> <p>口腔疾患予防学演習Ⅱ(う蝕予防)</p> <p>口腔疾患予防学演習Ⅲ(歯周病予防)</p> <p>歯科診療補助演習Ⅰ(基礎技術)</p> <p>歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術)</p> <p>顎口腔機能ハビリテーション演習</p> <p>食生活指導</p> <p>地域口腔保健学演習</p> <p>口腔保健臨床実習Ⅰ(早期臨床実習)</p>	<p>平成23年12月 任期付採用(24)</p> <p>平成23年12月1日～平成24年11月30日</p> <p>教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)</p> <p>平成24年11月30日付任期満了(25)</p>
				専	助手	富高梨恵(33)	平成25年4月		平成25年4月1日 助手として採用(25)
				専	助教	近藤悠美(25)	平成25年4月	<p>口腔疾患予防学演習Ⅰ(基礎技術)</p> <p>口腔疾患予防学演習Ⅱ(う蝕予防)</p> <p>口腔疾患予防学演習Ⅲ(歯周病予防)</p> <p>顎口腔機能ハビリテーション演習</p> <p>食生活指導</p> <p>地域口腔保健学演習</p> <p>歯科診療補助演習Ⅰ(基礎技術)</p> <p>歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術)</p>	平成25年4月 近藤悠美助教就任のため、担当者を追加(25)
兼任	教授	二塚信(70)	平成22年4月					保健福祉行政論	
								保健福祉論	
								生活支援論	
兼任	教授	志賀潔(68)	平成22年4月					解剖生理学Ⅰ	
								解剖生理学Ⅱ	
								解剖生理学Ⅲ	
								生化学	
兼任	教授	生野繁子(53)	平成22年4月					生活支援論	
兼任	教授	柴田恵子(48)	平成22年4月					生命倫理	
								看護学概論	
兼任	教授	樋口マキエ(65)	平成22年4月					生化学	
								医用工学	
								病態生理学Ⅰ	
								薬理学	
								感染症学	
兼任	教授	吉光清(61)	平成22年4月					心理学Ⅰ	
								心理学Ⅱ	
								産業カウンセリング論Ⅰ	
								生活支援論	
兼任	教授	熱田一信(68)	平成22年4月		特任教授			発達心理学	負担軽減のため担当変更(24)
								カウンセリング論	
								精神保健Ⅰ	
								臨床心理学	負担軽減のため担当変更(24)
兼任	教授	安藤学(56)	平成22年4月					社会学Ⅰ	
								社会学Ⅱ	
								社会調査法	
兼任	教授	佐藤林正(61)	平成23年4月					保健社会論	
								地域保健論	
								社会調査法	
								地域福祉論Ⅰ	
								地域福祉論Ⅱ	
								介護保険論	
兼任	教授	西島衛治(59)	平成22年4月					ボランティア論	
								人間工学	
兼任	教授	水野裕重(61)	平成22年4月					情報リテラシーⅠ	担当者統一の理由により森信之(教授)が担当(24)
								情報リテラシーⅡ	
兼任	教授	森信之(48)	平成22年4月					情報リテラシーⅠ	
								情報リテラシーⅡ	
								保健統計学	
兼任	教授	濱田輝一(56)	平成22年4月					生活支援論	
							平成25年4月	ハビリテーション医学	授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	加藤 浩(41)	平成23年4月	バイオメカニクス リハビリテーション医学						
				リハビリテーション医学					リハビリテーション医学	担当者から外した(25)
兼任	教授	川俣幹雄(54)	平成23年4月	生活支援論演習	兼任	講師	田口太郎(46)		生活支援論演習	担当者変更(25)
								平成23年4月	リハビリテーション概論	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更に伴い担当科目の追加(24)
兼任	教授	肥後成美(56)	平成22年4月	病態生理学Ⅱ リハビリテーション医学	兼任	助教	吉田勇一(47)	平成25年4月	リハビリテーション医学	担当者変更(25)
					兼任	助教	中野聡太(32)	平成25年4月	リハビリテーション医学	
兼任	教授	野崎和義(56)	平成22年4月	法学Ⅰ 法学Ⅱ(日本国憲法) 医事法規 生活支援論 福祉法学Ⅱ						
兼任	教授	山下 忍(58)	平成22年4月	体育 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅲ 運動生理学	兼任	講師	松本直幸(46)	平成25年9月	運動生理学	負担軽減のため担当者変更(25)
兼任	准教授	AJサポラント(56)	平成22年4月	比較文化論 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ					英会話Ⅰ	他学科を含む総授業担当コマ数が増加するため、江口元子兼任講師へ担当を変更(24)
兼任	准教授	久佐賀真理(52)	平成22年4月	生活支援論 生活支援論演習Ⅰ						
兼任	准教授	齋田和孝(47)	平成22年4月	病態生理学Ⅰ 病態生理学Ⅱ 病態生理学Ⅲ 感染症学	兼任	教授	熊本俊秀(66)	平成25年9月 平成25年4月 平成25年9月	病態生理学Ⅰ 病態生理学Ⅱ 病態生理学Ⅲ	平成22年4月教授昇格(22) 平成25年4月 熊本俊秀教授就任のため、平成25年度より担当者変更(25)
兼任	准教授	福本久美子(56)	平成22年4月	生活支援論 生活支援論演習		教授				平成22年4月教授昇格(22)
兼任	准教授	森みずえ(52)	平成23年4月	感染症学	兼任	講師				平成22年12月退職 非常勤講師として担当(22) 兼任講師の担当辞退(24)
兼任	准教授	李 玄玉(49)	平成22年4月	韓国語会話						
兼任	准教授	金 蘭九(58)	平成22年4月	比較文化論 障害者福祉論Ⅰ		教授				平成22年4月教授昇格(22)
兼任	准教授	徳小恵美子(54)	平成23年4月	介護概論	兼任	講師	小田一恵(59)	平成23年4月	介護概論	平成22年12月退職に伴う科目担当者変更(23)
					兼任	講師	前田公江(45)	平成24年4月	介護概論	前任者の担当辞退の理由により担当者変更(24)
兼任	准教授	上石隆雄(60)	平成23年4月	児童福祉論Ⅰ		嘱託教員				平成24年3月31日付で定年退職の理由により、准教授から嘱託教員へ職名変更(24)
兼任	准教授	後藤秀昭(54)	平成23年4月	医療福祉論Ⅰ 老人福祉論Ⅰ						
兼任	准教授	永田俊明(51)	平成22年4月	こころのしくみの理解						
					兼任	准教授	永田俊明(54)	平成24年4月 平成24年9月	発達心理学 臨床心理学	前任者が特任教授で負担軽減の理由により担当の変更(24)
兼任	准教授	山本孝司(39)	平成22年4月	文学 教育学						
兼任	准教授	大池貴之(38)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	准教授	永崎孝之(47)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	講師	川本起久子(48)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	上妻尚子(47)	平成22年4月	看護学概論						
兼任	講師	藤田美貴(45)	平成22年4月	看護学概論	兼任	助教	伊藤美恵子(51)	平成22年4月	看護学概論	平成22年3月退職にともなう担当者変更(22) 平成24年3月退職(24)
兼任	講師	河谷はるみ(37)	平成23年4月	公的扶助論						
					兼任	講師	河谷はるみ(39)	平成25年4月 平成25年9月	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ	北川慶子兼任講師の担当辞退の理由により、担当科目を追加(24)
兼任	講師	古賀由紀子(51)	平成23年4月	健康相談論 学校保健 救急処置法	専任	准教授		平成22年4月		教職科目(養護)の教育効果の向上のため専任として異動 社会福祉学科一口腔保健学科(22) 平成22年10月准教授昇格(23)
								平成25年4月 平成25年4月 平成25年4月	地域口腔保健学演習 卒業研究 卒業研究論文	授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	准教授	平崎和雄(48)	平成23年4月	救急処置法	授業内容の充実を図るため、担当者を追加(25)
兼任	講師	姫野建二(57)	平成22年4月	社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	真殿仁美(34)	平成22年4月	— 比較文化論 中国語会話 障害者福祉論Ⅰ	※ 兼任 兼任	准教授 助教 教授				平成23年4月准教授昇格(23) 平成25年3月退職(25) ※比較文化論は残りの3名(山本務、金蘭丸、A.J. 押'ラド')が担当(25)
兼任	講師	水上幸代(48)	平成22年4月	生活支援論						
兼任	講師	水間宗幸(38)	平成23年4月	障害児心理学						
兼任	講師	吉岡久美(48)	平成25年4月	生活支援論演習	兼任	講師	河谷はるみ(40)	平成25年4月	生活支援論演習	担当者変更(25)
兼任	講師	浅海靖恵(42)	平成23年4月	リハビリテーション医学						
兼任	講師	五嶋佳子(45)	平成23年4月	リハビリテーション医学			大浦佳子(47)			平成24年4月改姓(24)
兼任	講師	森下志子(37)	平成23年4月	リハビリテーション医学					リハビリテーション医学	担当者から外した(25)
兼任	助教	坂口里美(31)	平成25年4月	生活支援論演習	専	講師	筒井睦(54)	平成25年4月	生活支援論演習	担当者変更(25)
兼任	助教	中川武子(47)	平成25年4月	生活支援論演習		講師				平成23年4月講師昇格(24)
兼任	講師	隈直子(39)	平成23年4月	公的扶助論						
兼任	助教	福留英明(39)	平成23年4月	— リハビリテーション医学		講師				平成24年4月講師昇格(24) リハビリテーション医学 担当者から外した(25)
兼任	助教	川口顕(49)	平成23年4月	リハビリテーション概論	兼任	教授	川俣幹雄(56)	平成23年4月	リハビリテーション概論	はり師きゅう師養成施設申請に係る文部科学省の指導による教員変更に伴い担当科目の追加(24)
兼任	講師	中宮光隆(63)	平成22年4月	経済学						
兼任	講師	佐藤嘉倫(37)	平成23年4月	コミュニケーション論						
兼任	講師	川原英照(57)	平成22年4月	ボランティア論						
兼任	講師	宮田喜代志(51)	平成22年4月	ボランティア論						
兼任	講師	江口元子(70)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ(医療英語)						
					兼任	講師	江口元子(72)	平成24年4月	英会話Ⅰ	A.J. 押'ラド'准教授の担当辞退により担当科目を追加(24)
兼任	講師	田上 統(71)	平成22年4月	障害者言語Ⅰ(点字)			後任未定			兼任講師の担当辞退に伴い、担当者未定(25)
兼任	講師	梶原初子(63)	平成22年4月	障害者言語Ⅱ(手話)						
兼任	講師	木下統一(69)	平成22年4月	基礎生物学						
兼任	講師	星野輝彦(53)	平成23年4月	環境衛生学						
兼任	講師	中村直美(67)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	浅井 篤(47)	平成22年4月	生命倫理						
兼任	講師	山口和宏(35)	平成22年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	兼任	教授	森信之(49)	平成22年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	兼任講師による科目担当に変更(23)
兼任	講師	千場梅子(57)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	橋田昌弘(53)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	肥合康弘(48)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	富吉勝美(57)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	荒木不次男(53)	平成22年4月	医用工学						
兼任	講師	中村洋子(60)	平成22年4月	生活栄養学	兼任	講師	本田榮子(69)	平成23年9月	生活栄養学	療養による就任辞退に伴う担当者変更(23)
兼任	講師	助臺美帆(36)	平成22年4月	口腔解剖学	兼任	講師	野田 彩(30)	平成22年9月	口腔解剖学	勤務先変更による就任辞退に伴う担当者変更(22)
					兼任	講師	太田宣彦(34)	平成23年9月	口腔解剖学	前任者の職務変更による辞退に伴う担当者変更(23)
					兼任	講師	吉田遼司(30)	平成24年9月	口腔解剖学	前任者の職務変更による辞退に伴う担当者変更(24)
					兼任	講師	高尾直宏(30)	平成25年9月	口腔解剖学	前任者の職務変更による辞退に伴う担当者変更(25)
兼任	講師	沖永敏則(32)	平成22年4月	口腔組織発生学	兼任	講師	緒方克守(28)	平成22年9月	口腔組織発生学	勤務先変更による就任辞退に伴う担当者変更(22)
					兼任	講師	高尾直宏(29)	平成23年9月	口腔組織発生学	前任者の職務変更による辞退に伴う担当者変更(23)
					兼任	講師	竹下尚志(27)	平成24年9月	口腔組織発生学	前任者の職務変更による辞退に伴う担当者変更(24)
					兼任	講師	内藤久貴(28)	平成25年9月	口腔組織発生学	前任者の職務変更による辞退に伴う担当者変更(25)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	進正史(32)	平成22年4月	口腔生理学	兼任	講師	福泉忠興(44)	平成22年9月	口腔生理学	勤務先変更による就任辞退に伴う担当者変更(22)
兼任	講師	田中みどり(40)	平成22年4月	口腔生化学						
兼任	講師	大河原進(60)	平成22年4月	病態生理学Ⅰ						
兼任	講師	古森顕一(53)	平成22年4月	病態生理学Ⅱ						
兼任	講師	牛島正人(56)	平成22年4月	病態生理学Ⅱ						
兼任	講師	田宮貞宏(44)	平成22年4月	病態生理学Ⅱ						
兼任	講師	中野哲雄(58)	平成23年4月	病態生理学Ⅲ	兼任	講師	安岡寛理(37)	平成23年9月	口腔生理学	勤務先職位変更による就任辞退に伴う担当者変更(23)
兼任	講師	藤澤章二(59)	平成23年4月	病態生理学Ⅲ						
					兼任	講師	大場隆(50)	平成23年9月	病態生理学Ⅲ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
兼任	講師	田中文丸(41)	平成23年4月	口腔病理学 顎口腔外科学						
兼任	講師	小川峰太郎(48)	平成23年4月	感染症学	兼任	講師	甲木孝人(69)	平成23年9月	感染症学	他学科合同授業に伴う科目担当者変更による変更(23)
兼任	講師	福泉忠興(44)	平成23年4月	薬理学						
兼任	講師	秦亮(35)	平成25年4月	国際保健論 国際保健活動論						
兼任	講師	有松徳樹(68)	平成23年4月	疫学	兼任	講師	原田幸一(65)	平成24年9月	疫学	前任者の担当辞退の理由により担当者変更(24)
兼任	講師	吉武博美(36)	平成23年4月	歯科麻酔学 発達歯科学Ⅱ(障害者)						
兼任	講師	反後雅博(48)	平成25年4月	歯科医療管理学						
兼任	講師	菊池健(58)	平成22年4月	看護学概論					看護学概論	担当辞退(25)
兼任	講師	藤原大樹(29)	平成23年4月	発育発達論						
兼任	講師	北川慶子(60)	平成25年4月	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ	専任	講師	河谷はるみ(39)	平成25年4月 平成25年9月	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ	担当辞退の理由により専任教員へ担当者変更(24)
					兼任	講師	竹元明子(41)	平成24年4月	食生活指導	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	越智龍弥(52)	平成25年4月	リハビリテーション医学	授業内容の充実を図るため、担当を追加(25)
					兼任	講師	伊東隆利(70)	平成22年4月	歯科衛生学概論	授業内容の充実を図るため、担当を追加(25)
					兼任	講師	久家誠司(55)	平成25年4月	コミュニティ口腔保健実習指導	平成25年度から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
					兼任	講師	木村榮作(49)	平成25年4月	コミュニティ口腔保健実習指導	平成25年度から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
					兼任	講師	平野喜幸(51)	平成25年4月 平成25年9月	コミュニティ口腔保健実習指導 コミュニティ口腔保健実習	平成25年度から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成25年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
4	2	2	2	10	4	3	2	3	12	教授 68 准教授 62 助教・助手 60	教授 0 准教授 1 助教・助手 0
(3)	(1)	(3)	(2)	(9)	[0]	[1]	[0]	[1]	[2]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	村上 繁樹	平成22年度中、本人担当科目が無いため就任時期を調整した。（平成23年4月就任）
2	准教授	北田 勝浩	平成22年度中、本人担当科目が1科目しか無いため就任時期を調整した。（平成23年4月就任）
3	助教	富高 梨恵	平成23年12月から1年間の任期付採用であったため、平成24年11月末日をもって退職。 平成25年4月に助手として採用(25)

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

村上繁樹教授：平成22年度中は本人担当科目が無いため、履修上の支障はない。(22) 北田勝浩准教授：平成22年度開講科目「口腔保健衛生学」は非常勤講師として開講するため支障はない。(22)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	○ 看護福祉学部看護学科、リハビリテーション学科の入学定員超過の是正に努めること。 ○ 看護福祉学部口腔保健学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。	<看護学科> 平成22年度は、4学年全体の定員充足率が1.43倍と大幅に超過していたが、平成23年度入学生では1.15倍と是正した。しかし、依然として全体の超過率が1.35倍であり、1.30未満となるよう鋭意努力していく。 <リハビリテーション学科> 平成22年度は、4学年全体の定員充足率が1.30倍であったが、平成23年度は1.27倍と是正した。 平成22年度の入試においては、設置認可の遅れにより、学生募集活動にも遅れが生じたことにより、定員充足率0.68倍と定員を大きく下回ったが、平成23年度は入学定員を確保(1.00倍)した。また、高校訪問活動など学生募集活動を強化することにより学生確保に努めている。	
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	○看護福祉学部看護学科の入学定員超過の是正に努めること。	<看護学科> 平成23年度入学生は1.15倍とし、24年度入学者も引き続き1.15倍として、入学者数の適正化を図っている。また、看護福祉学部全体の入学者数も381名(超過率1.06倍)と漸次減少させている。今後もさらに努力していきたい。	
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	○該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。(認可で設置された学部学科等のみ。)
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等 <看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①教員組織の編成 専任教員 教授 4名 准教授 2名 講師 2名 助教 1名 合計 9名	①はり師きゅう師学校認定申請（文部科学省）において、専任教員の資格要件審査で4名が不可の判定となったため、届出教員を変更した。 また、当該学科で取得可能なアスレティックトレーナー（日体協）の開設科目担当の専任教員を追加した。(H22) 専任教員 教授 4名 准教授 3名 講師 2名 助教 2名 合計 11名 ②実習科目の負担軽減のため専任教員を追加した。(H23) 専任教員 教授 4名 准教授 3名 講師 2名 助教 3名 合計 12名 ③井上晴豪助教の懲戒解雇に伴う専任教員の人数減については、23年4月1日時点で新たに助教1名を追加し、さらに、24年4月1日付け准教授1名を採用した。(H24) 専任教員 教授 4名 准教授 4名 講師 2名 助教 2名 合計 12名 ④附属鍼灸臨床センター開所に伴い、専任スタッフ2名を雇用し、次年度にはじまる「鍼灸治療所実習」の運営が円滑に行われるように手当した。(H24) ⑤アスレティックトレーナー、健康運動指導士等、スポーツ系科目担当者の充実を図るため新たに助教を採用し、また学科運営の円滑化と実習の充実を目的として助手を2名採用した。(H25) 専任教員 教授 4名 准教授 4名 講師 2名 助教 3名 助手 2名 合計 15名

<看護福祉学部 口腔保健学科>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①教員組織の編成 専任教員 教授 4名 准教授 2名 講師 2名 助教 2名 合計 10名	①教職免許（養護）担当の専任教員を追加した。また、平成22年10月に当該教員が准教授に昇格した。(H22) 専任教員 教授 4名 4名 准教授 2名 3名 講師 3名 → 2名 助教 2名 2名 合計 11名 11名 ②育児休暇中の助教1名に代わり、1名の助教を追加採用し、実習指導等に支障がないようにした。(H24) 専任教員 教授 4名 准教授 3名 講師 2名 助教 3名 合計 12名

③学科運営の円滑化と口腔保健実習の充実を企図して、新たに助教1名、助手1名を採用した。(H25)

専任教員	教授	4名
	准教授	3名
	講師	2名
	助教	3名
	助手	1名
	合計	13名

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な取り組みとして、九州看護福祉大学自己点検・自己評価委員会の専門委員会として、FD専門委員会を設置(平成16年度)・・・専門委員会のため規程なし

- ・ 専門委員会構成員：自己点検・自己評価委員会委員より各学科1名及び各学科選出教員1名

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

授業評価アンケート及び研修会の実施にあわせて、年に数回実施している。(委員のほぼ全員が出席)また、学科独自の研修会を開催し、資質の向上に努めている。

c 委員会の審議事項等

- ・ 学生による授業評価アンケートの実施に関する事項
- ・ FD研修会の実施に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 大学におけるハラスメント対策の課題(全学共通)
- ・ 将来につながる文章表現(全学共通)
- ・ 学生のメンタルヘルスに関する研修会(鍼灸スポーツ学科教員のみ)
- ・ 実習教育の進め方及び歯科衛生士教育の問題点に関する研修会(口腔保健学科教員のみ)

b 実施方法

- ・ 外部講師による講演
- ・ 担当教員による話題提供、各教員からの問題提起及び教員全員による討論

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・ 全員の参加が見込める休業日に実施日を設定し、教員のほぼ7割が参加している

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 研修会の内容についてはサマリーを作成し、資料等についても全教職員に配布している。また、研修会の内容をフィードバックして、教員の授業改善に活かしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 隔年で、非常勤教員の授業も含め、全科目に対して授業アンケートを実施している(24年度はアンケート実施年)

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 教員に対してはアンケート結果をフィードバックし、それに対する改善計画等を提出させている。また、報告書を作成し図書館に配置して、学生に閲覧の用に供している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科は、既設の3学科（看護、社会福祉、リハビリテーション）が重点的に意図している二次予防、三次予防に対応する専門職業人の養成に加え、鍼灸スポーツ学、口腔保健学といった健康増進、疾病予防など主とした一次予防を専門とする職業人の養成を行うことを目的として設置した。鍼灸スポーツ学科では平成24年4月に附属鍼灸臨床センターを開設し、教育・研究施設としてばかりでなく、地域の住民へのサービスを提供し始めた。

鍼灸スポーツ学科では、主要資格となるはり師きゅう師国家試験受験資格に加え、高等学校教諭一種免許状（保健体育）、アスレティックトレーナー受験資格、健康運動指導士受験資格の取得が可能となっており、設置段階で目標としていた資格取得は全て達成できた。また新たに、平成23年度入学生からは、中学校教諭一種免許（保健体育）も取得可能となった。

口腔保健学科では、主要資格である歯科衛生士国家試験受験資格に加え、養護教諭一種免許状の取得が可能となっており、設置段階で目標としていた資格取得は全て達成できた。

さらに、大学の設置に関して拠出金を提供した長洲町・和水町と連携を深め、地域住民の健康増進・疾病予防等の深化を図るべく、地域住民に対する歯科健康診断・健診や児童生徒に対する口腔保健指導等を実施したほか、和水町からは受託研究を付託されている。

なお、助教（井上晴豪助教）及び客員教授（内柴正人客員教授）の不祥事による懲戒解雇の関しては、事件の発覚直後から学内ハラスメント委員会を招集し、事実関係の把握に努め、外部の法曹専門家の意見も求めたうえで懲戒解雇処分とした。この間、学外のみならず学内にも事件の経緯を詳細に説明し、学生教職員への説明義務を忠実に果たすべく努力した。また事件を期に、教職員の勤務実態の把握やクラブサークル活動のあり方、さらに大学スポーツのあり方などにも議論が及び、事件を奇禍として今後の運営改善に資する材料としたい。

以上、順風満帆とはいえないものの、教員の充実、教育課程及び施設設備などについては、所期の目的を順調に達成しつつある。今後は、さらに教育課程の点検調査を行い、一期卒業生の質的完成度の向上に努力したい。また、完成年度以降の適用カリキュラムの改変に向け、調査・検討していくこととしたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成25年7月1日 公表

b 公表方法

- ・図書館に配置して、閲覧用に供する。

③ 認証評価を受ける計画

本学は、平成20年度に（財）日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。認定期間は、平成20年4月1日から平成27年3月31日まで。現在のところ、平成26年度の再受審にむけ、学内の体制を構築する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(25 年 9 月 1 日)